



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和6年1月10日
学校だより1月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



令和6年の始まりに寄せて

校長 犬塚 真

新たな年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

横浜は晴天に恵まれ、とても晴れやかなお正月でしたが、元旦の夕方に能登半島地震が発生したことは、子どもたちにとっても大きな驚きと不安であったことと思います。この地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災された方々が一日も早く心安らぐ生活を取り戻されることを願うばかりです。

ご存知の方も多いと思いますが、1月15日から21日は「防災とボランティア週間」です。これは平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに制定されたものです。当時、大勢のボランティアが全国から駆けつけ、様々な支援活動が行われたことで、災害時のボランティア活動の重要性が広く認識されたそうです。

2月4日（日）には本校で地域防災拠点訓練が行われます。新校舎になって初めての訓練となります。避難所としての機能も以前に比べ充実しています。ぜひ、訓練に参加してご確認いただければと思っています。

横浜市では、地震発生から72時間までの間を目安に、運営委員の方々と避難者の方々が一体となって地域防災拠点を開設・運営するための手順をまとめた「地域防災拠点」開設・運営マニュアルを用意しています。ここでは拠点の開設・運営に当たって、次の3点を念頭に置いて行動するよう記されています。

- ① 地域防災拠点では、避難者の全員が運営の支援を担っていくこと
- ② 運営委員会の方々が頑張りが過ぎて疲労しないこと
- ③ 災害時には、地域防災拠点と在宅被災生活者などがいる地域とが密接に連携していくこと

災害は時を選ばず、いつ発生してもおかしくないということを元旦の地震であらためて認識しました。だからこそ日頃の防災対策が大切になります。このマニュアルは横浜市のホームページに掲載されていますので、ぜひ一度目を通しておかれるとよいと思います。

さて、辰年は努力した成果が実を結ぶ年とも言われています。そして、今年パリオリンピックの開催年でもあります。様々な選手の活躍に期待が膨らみます。

卒業や進級まで残り少ない日々となりました。子どもたちには、一日一日を大切に、じっくりと時を踏みしめていってほしいと願っています。

結びとなりますが、本校では今年も工事が続きます。春先においては校舎の周りにたくさんの樹木が植えられていきます。また、プールの改築工事も始まります。夏休み明けには新しいプールで水泳の学習ができる予定です。屋外のトイレなどもすべて新しくなります。その後、校庭の整備が令和7年の半ばまで続きます。工事に伴いご迷惑をおかけする点多々あろうかと思いますが、何より子どもたちの安全には細心の注意を払って進めていきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

